

(参考) 医師・看護師の有料職業紹介事業に関するヒアリングの概要

○医師・看護師の紹介を扱っている民間の職業紹介事業者(医師2者、看護師2者)と、医療機関(2者)に対し、ヒアリングを実施(平成24年11月～平成25年11月)

① 民間の職業紹介事業者に対するヒアリング概要

	A社(医師、全国規模)	B社(医師、全国規模)	C社(看護師、全国規模)	D社(看護師、全国規模)
おおよその紹介手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・年収の20%程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業時より原則年収の20% 	<ul style="list-style-type: none"> ・年収の20%程度 ・実際には医療機関との交渉により20%を下回る場合も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年収の4～10%程度 ・競合他社よりも安いのではないか。
求職者(医師・看護師)の傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医の方は医局以外の情報を得るための利用が多いが、最終的には医局で決める場合が多い。 ・研修医の方は隙間時間の活用や経験を積むための利用が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均年齢40歳(医師歴15年)くらいのニーズが高い。男女比は7:3。 ・理由は処遇を改善したいというものが多い。 ・紹介先は都市部の総合病院が多い。 ・初めて利用する方が多く、転職を繰り返すケースは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業条件に関する要望(託児所、駐車場の有無等)が多い。 ・担当者が面接に同行するケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層は幅広い。 ・就業条件に関する要望が多い。事業者から各病院の情報を知りたいことも理由の1つではないか。
返金制度やお祝い金制度の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・半年以内に離職した場合、それまでの勤続期間に応じて手数料の一部を返金。 ・就職祝い金はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離職までの勤続期間に応じた返金あり。 ・就職祝い金はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ヶ月未満の離職は80%、3ヶ月未満の離職は50%、6ヶ月未満の離職は10%を返金。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料を分割で請求しており、返金制度はない。 ・就職祝い金はない。仕度金を出す会社があるという話は聞いたことがある。

	A社(医師、全国規模)	B社(医師、全国規模)	C社(看護師、全国規模)	D社(看護師、全国規模)
紹介後、短期間に離職してしまう場合がある等の声について	<ul style="list-style-type: none"> ・半年以内の離職率は数%程度。短期で離職を繰り返すケースは承知していない。 ・ミスマッチを少なくするよう、医療機関側の情報のきめ細かな開示に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年以内の離職率は3%程度。人間関係のトラブルなどの理由によると考えられる。 ・面談を通じてミスマッチを防いでいる。紹介先の人間関係もできる限り求職者に伝え、紹介後もサポートを行う。 ・紹介事業者を利用するメリットは、多くの候補者と接触できることと、スピードが速いことと認識。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年以内の離職率は10%以下。通常は、ライフサイクルに合わせた離職が多い。 ・短期で離職されてしまうと、こちらも次の契約がとれなくなるため、職場見学を充実したり、営業担当の人事評価に離職率の項目を組み込んだり工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに辞めそうな看護師は紹介しない。信頼関係を失う。 ・自治体病院より民間病院からの求人が圧倒的に多い。また、外来より病棟勤務の求人が多い。

② 医療機関に対するヒアリング概要

	E病院（約50床）	F病院（約600床）
人材紹介事業者の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の採用状況の、常勤医師1人、非常勤医師2人、看護師1人の全員について紹介事業者を利用。 ・臨床技師や事務員は主にハローワーク経由。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年1～9月の採用状況(常勤)でいえば、医師11人(うち紹介事業者経由7人) 正看護師67人(同39人) 准看護師7人(同2人) コメディカル12人(同6人) ・ハローワークは介護職や清掃のパート従業員等のみ。
人材紹介事業者に支払う紹介手数料の相場	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料の相場は20%。値下げ交渉をするが、医師と薬剤師については人手が不足していることもあり紹介事業者も応じてくれない。 ・その他の職種については値下げできることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料は20%を超えないよう交渉する。准看護師やキャリアインターバルがある人は10%下げること。 ・薬剤師は高待遇の調剤薬局やメーカーに行ってしまう人材不足のため25%が主流。作業療法士や言語聴覚士も不足しているため、引き下げは難しい。 ・手数料の返還規定の覚書を作り、返金しない業者は利用しないように気を付けている。採用してすぐ全額を払い、6ヶ月以内に辞めた場合には返還する方式。分割方式は経理処理が大変で、応じる業者も少ない。
人材紹介事業者を利用するメリット・デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・メリットは、タイムリーに人材を確保してくれるところ、面接日程の調整を紹介事業者が行ってくれるところ。 ・デメリットは、採用してみないと人材の善し悪しが分からない面があるところ。 ・人材紹介業者との関係により、紹介される求職者の質が変わる。人材をランク付けして、関係の薄い医療機関には評価の低い人材を紹介するところもあるやに聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メリットは、要求している人材とマッチした人材を連れてきてくれる点。 ・デメリットはコスト。手数料20%は高い。 ・当院の場合、自由応募に比べて人材紹介業者経由の方が人材の質が低いということはない。むしろ自由応募の方が質が低いこともあり、面接で断る確率が高い。地方では、自由応募でも質の高い人も来ると聞かすが、都内では異なるのではないか。

	E病院（約50床）	F病院（約630床）
人材紹介事業者を選ぶ際の基準	<ul style="list-style-type: none"> 得意職種、短期で辞めた場合の返金率、利用した他の病院からの評判、しっかり情報を伝えてくれているか、などを考慮する。 手数料の支払い方法は分割月払いが有難い。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師は大手がよい。医師は小さいところでも、エージェントが独立したところなどよい会社はある。エージェントの力が大きい。 業者との付き合い方が重要。利用にあたっては、味方になってくれるエージェントをいかに増やすかが重要。
人材紹介事業者を利用する医師・看護師の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 医師は、業者を通じて条件（当直や有給休暇等）を出され、やむなく受け入れることもある。ワークライフバランスを大事にしたいので、定時に帰れるような職場を希望している人が多い。 看護師は、人手不足であり、面接の結果がよほど悪くない限り不採用とはならない。これまで業者経由で採用した人は期待どおりの人材が多く、不満はない。 業者経由の求職者は、業者が間に入って労働条件等を交渉してくれるからか、他のルートからの求職者と比較して余裕があるように見える。 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介されたスタッフへの満足度は7割程度。 勤続期間について、業者経由の方が短いということはない。入口で精査している。 業者経由と自由応募で年齢差はあまりない。業者経由はその時点で臨床をやっている人、自由応募は休業明けの人が多い。 医師は紹介システムの歴史が古く、あまり失敗することはない。医師が病院を移ろうとするのは勤務条件を上げたい時で、良い医者に来てもらうにはコストがかかるのはやむを得ない。
人材紹介事業者とのトラブル等の経験	<ul style="list-style-type: none"> トラブルはあまりないが、医師が入職の半年後に開業を理由に退職したことが一度あり、紹介事業者に「開業の予定があることを事前に教えてほしかった」と苦情を言ったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブルはあまりないが、重大な情報を隠していたり、経歴を詐称していたケースがあった。 仕事ぶりにより、出入り禁止とする場合もある。業者を選ぶことが重要。